

## 第97回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成29年1月～3月期

---

---

平成29年1月～3月期の業況判断指数（日銀短観3月）は、製造業では世界経済の回復による影響から改善の傾向がみられ、非製造業では消費動向の持ち直しや円安による外国人観光客の需要回復により改善傾向になった。

一方で、トラック運送業界の1月～3月期は、一般貨物において輸送数量や実車率はほぼ横ばいで推移するなか、軽油価格が1月以降上昇したこと、人手不足による運転者等の人件費の漸増等により、営業利益は悪化の傾向をみせている。そのため、景況感の判断指標は▲15.3となり、前回（▲12.8）から2.5ポイント悪化した。

なお、来期の判断指標の見通しは、国内の貨物量減少の懸念、燃料コストや人件費等の高騰に対する先行きの不透明感から、今回より10.1ポイント悪化して▲25.4の見通しとなっている。

---

---

平成29年5月16日

公益社団法人 全日本トラック協会

## 1. 今回（平成29年1月～3月期）の状況

### ① 概況

平成29年1月～3月期におけるトラック運送業界の景況感は、「好転」とした事業者は16.2%（前回17.0%）、「悪化」とした事業者は29.4%（前回28.4%）で、判断指標は▲15.3となり、前回（▲12.8）から2.5ポイントの悪化となった。

### ② 一般貨物

一般貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が29.3%、「増加」とする事業者が23.1%で、判断指標は▲7.9となり、前回（▲7.3）から0.6ポイント悪化した。営業収入は「減少」とする事業者が30.7%、「増加」とする事業者が25.0%で、判断指標は▲7.4%となり、前回（▲7.0）から0.4ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が35.9%、「増加」とする事業者が19.5%で、判断指標は▲20.1となり、前回（▲9.5）から10.6ポイント悪化した。

### ③ 特別積合せ貨物

宅配貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が16.7%、「増加」とする事業者が36.6%で、判断指標は23.3となり、前回（16.2）より7.1ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が30.0%、「増加」とする事業者が40.0%で、判断指標は10.0となり、前回（13.5）よりも3.5ポイント悪化した。営業利益は「減少」とする事業者が36.6%、「増加」とする事業者が16.7%で、判断指標は▲23.3となり、前回（2.7）よりも26.0ポイント悪化した。

宅配以外の特積貨物では、輸送数量は「減少」とする事業者が17.2%、「増加」とする事業者が24.1%で、判断指標は5.2となり、前回（▲9.4）から14.6ポイント改善した。営業収入は「減少」とする事業者が15.5%、「増加」とする事業者が22.4%で、判断指標は5.2となり、前回（▲17.0）から22.2ポイント改善した。営業利益は「減少」とする事業者が18.9%、「増加」とする事業者が15.5%で、判断指標は▲5.2となり、前回（1.9）から7.1ポイント悪化した。

### ④ 運賃・料金水準

運賃・料金水準は一般貨物2.3（前回▲2.7）と5.0ポイント改善、宅配貨物は16.7（前回▲8.1）と24.8ポイント改善、宅配以外の特積貨物は12.1（前回7.5）から4.6ポイント改善となっている。

### ⑤ 実働率等

実働率は▲4.6（前回▲3.7）と0.9ポイント悪化、実車率は▲3.4（前回▲3.3）となり0.1ポイント悪化となった。

雇用状況（労働力の過不足）は88.8（前回77.3）と11.5ポイント上昇し、不足感が強くなった。採用状況は▲3.8（前回▲6.6）で2.8ポイント増加し、所定外労働時間は▲4.0（前回▲2.4）と1.6ポイント減少している。貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）は3.1（前回0.4）で2.7ポイント増加となった。経常損益は▲14.3（前回▲1.8）となり、12.5ポイント悪化となった。

## ⑥ 規模別及び取扱い品目別、地域別

事業者の規模別では、大規模事業者は▲6.1（前回▲2.2）と3.9ポイント悪化、中規模事業者は▲11.4（前回▲10.6）となり、0.8ポイント悪化、小規模事業者は▲25.5（前回▲20.0）と5.5ポイント悪化となっている。

一般貨物における主な取扱い品目別については、消費関連貨物は▲8.9（前回▲8.7）と0.2ポイント悪化、建設関連貨物は▲33.0（前回2.7）と35.7ポイント悪化、機械関連貨物は▲14.1（前回▲27.3）と13.2ポイント改善しており、その他貨物は▲15.6（前回▲19.9）と4.3ポイント改善している。

一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、北海道、東北、関東、北陸信越、中部、四国は水準を下げている傾向にあるが、近畿、中国、九州は水準を上げている。

## 2. 今後（平成29年4月～6月期）の見通し

### ① 概況

平成29年4月～6月期の見通しについて、業界の景況感の判断指標は▲25.4で、今回から10.1ポイント下げる見込み。

### ② 一般貨物

一般貨物について、輸送数量と営業収入はやや悪化、営業利益は僅かに悪化の見込みである。

### ③ 特別積合せ貨物

宅配貨物について、輸送数量、営業収入は悪化、営業利益はほぼ横ばいの見込みである。

宅配以外の特積貨物について、輸送数量はやや悪化、営業収入はやや改善、営業利益はほぼ横ばいの見込みである。

### ④ 運賃・料金水準

一般貨物は僅かに上昇、宅配貨物と宅配以外の特積貨物はやや上昇の見込みである。

### ⑤ 実働率等

実働率、実車率はやや悪化の見込みである。雇用状況（労働力の過不足）は指標の水準がやや上がり、不足感が強まる見込みである。採用状況は水準を僅かに下げ、所定外労働時間、貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）はやや悪化、経常損益も指標の水準をやや下げる見込みである。

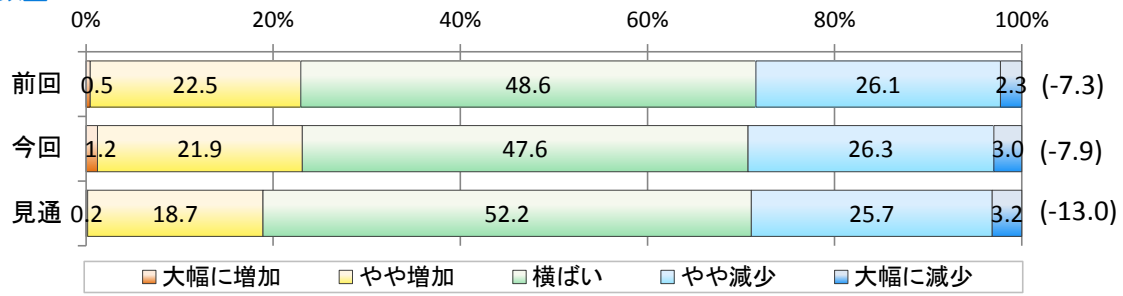
## ⑥ 規模別および取扱い品目別、地域別

大規模事業者、中規模事業者、小規模事業者ともに悪化の見込みである。

一般貨物における主な取扱い品目別では、消費関連貨物は水準を下げ、建設関連貨物は横ばい、機械関連貨物、その他貨物は、水準を下げる見込みである。一般貨物における地域別では、北海道は水準を上げ、東北、近畿はほぼ横ばい、関東、北陸信越、中部、中国、四国、九州は水準を下げる見込みである。

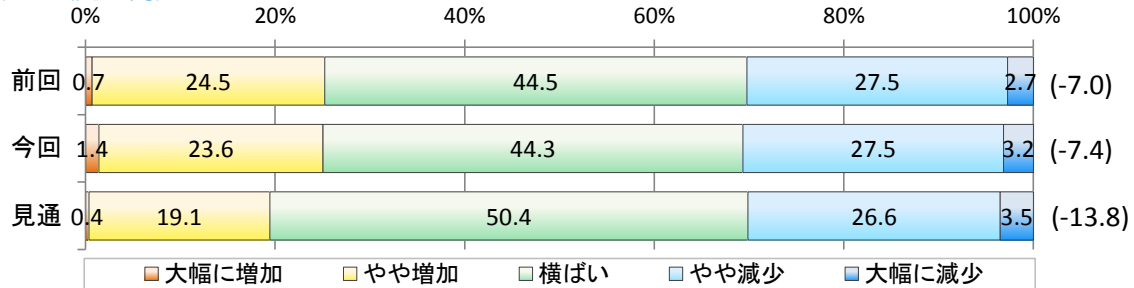
### 3. 一般貨物の概況

#### ■ 輸送数量



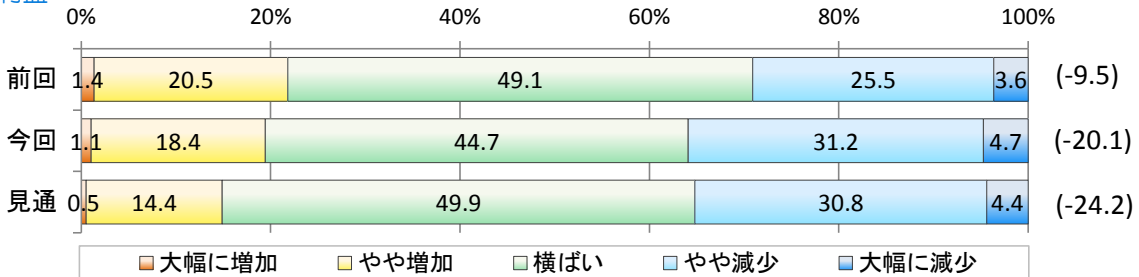
- ・ 前回より0.6ポイント悪化した。
- ・ 今後は水準をやや下げる見込み。

#### ■ 営業収入（売上高）



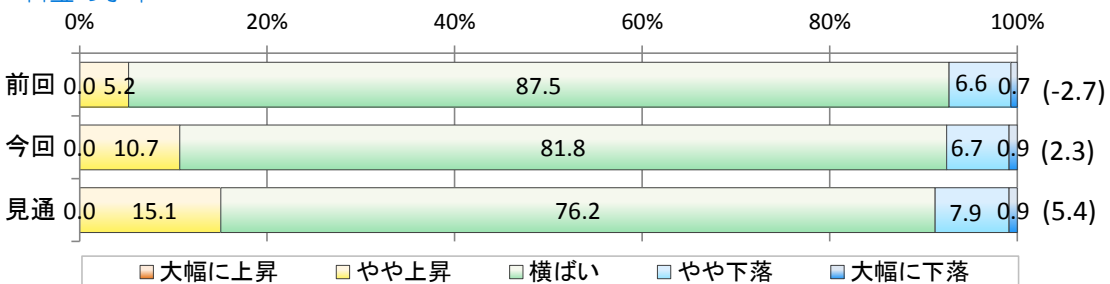
- ・ 前回より0.4ポイント悪化した。
- ・ 今後は水準をやや下げる見込み。

#### ■ 営業利益



- ・ 前回より10.6ポイント悪化した。
- ・ 今後は水準を僅かに下げる見込み。

#### ■ 運賃・料金の水準



- ・ 前回より5.0ポイント改善した。
- ・ 今後は水準を僅かに上げる見込み。

#### 【調査の概要】

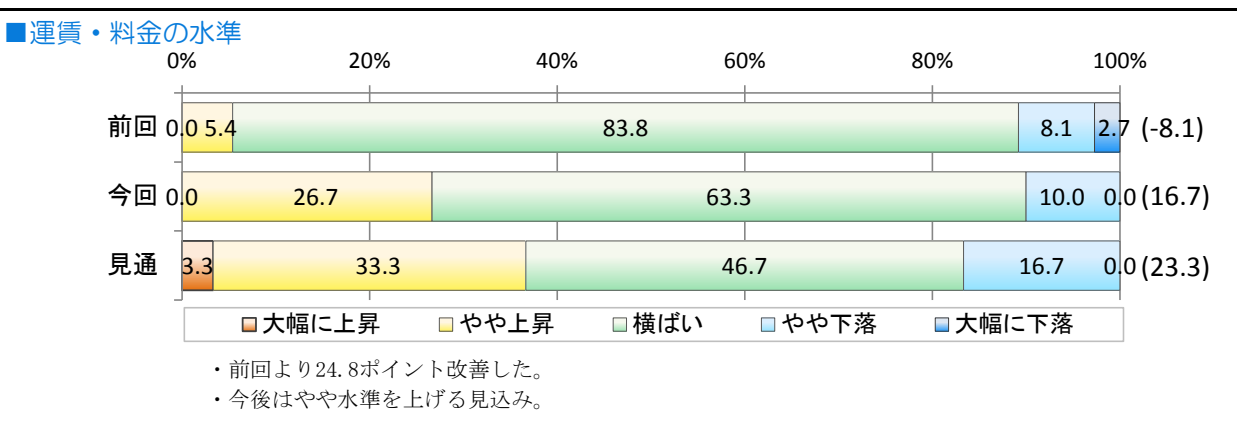
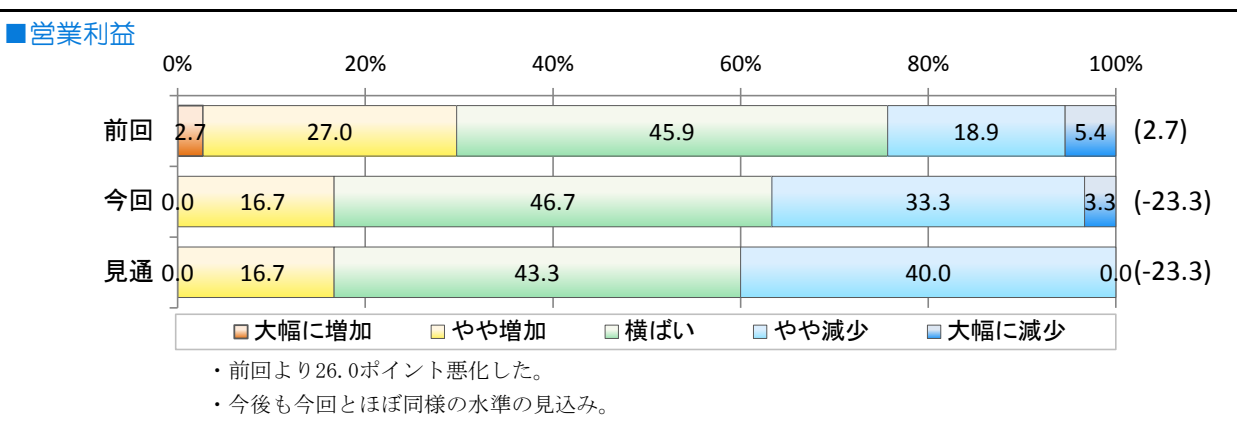
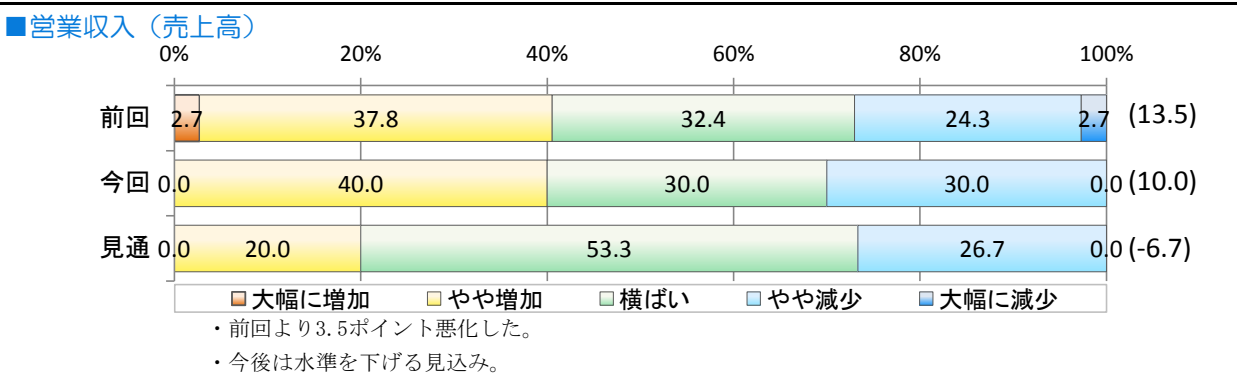
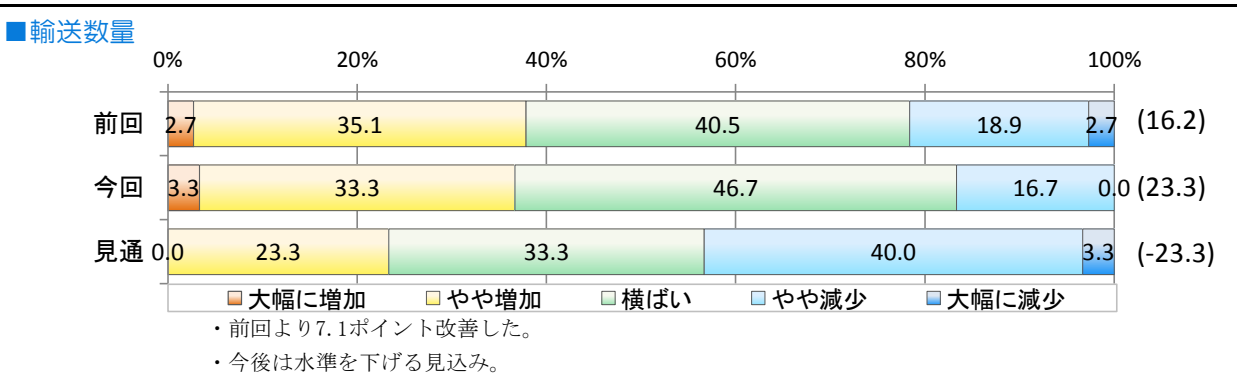
平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第97回調査は、平成29年4月1日に、モニターに対して調査開始。平成29年4月30日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
72	571	582

※一部回答事業者の重複あり

#### 4. 特積貨物の概況

##### ① 宅配貨物



(注1) 各グラフの上段は前回 (H28.10月～12月期) の状況、中段は今回 (H29.1月～3月期) の状況、下段は今後 (H29.4月～6月期) の見通しを示す。いずれも前年同期比を集計している。

(注2) 各グラフの構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

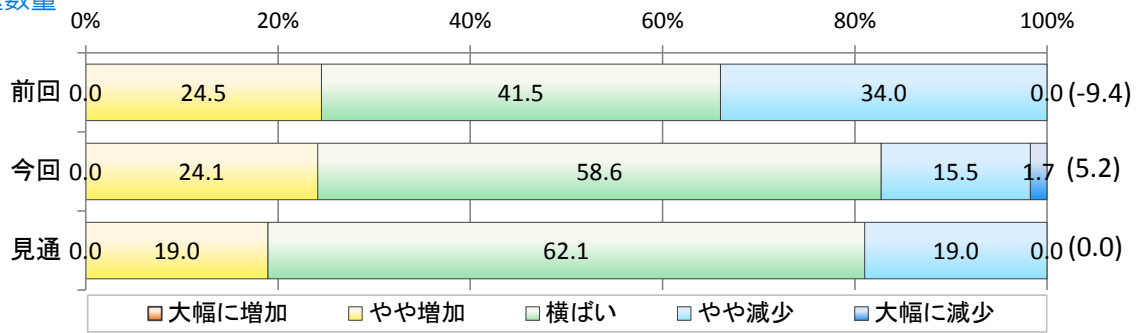
(注3) グラフ右のカッコ内は業況判断指標。指標は、各設問の回答に対し、大幅に増加・上昇・好転、労働力不足+2、やや増加・上昇・好転、労働力不足+1、横ばい0、やや減少・低下・悪化、労働力過剰-1、大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰～-2の点数を与え、1事業者当たりの平均を100倍することにより算出している。

A (設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5 (設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 =  $\{( +2 \times a1 ) + ( +1 \times a2 ) + ( 0 \times a3 ) + ( -1 \times a4 ) + ( -2 \times a5 )\} \div A \times 100$

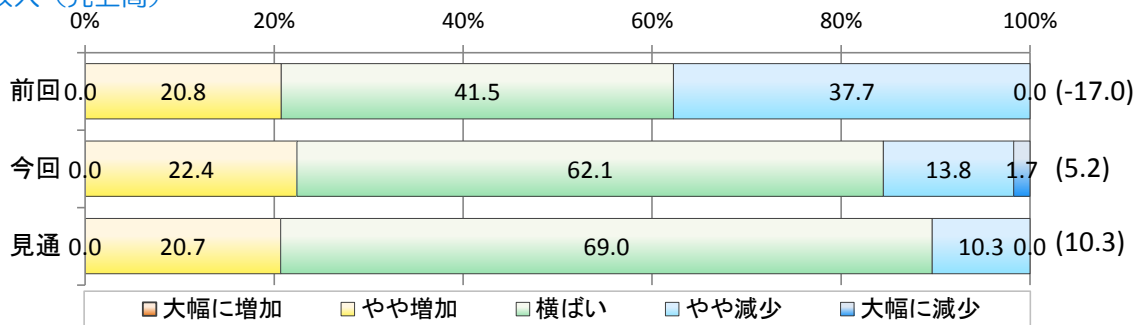
② 宅配以外の特積貨物

■ 輸送数量



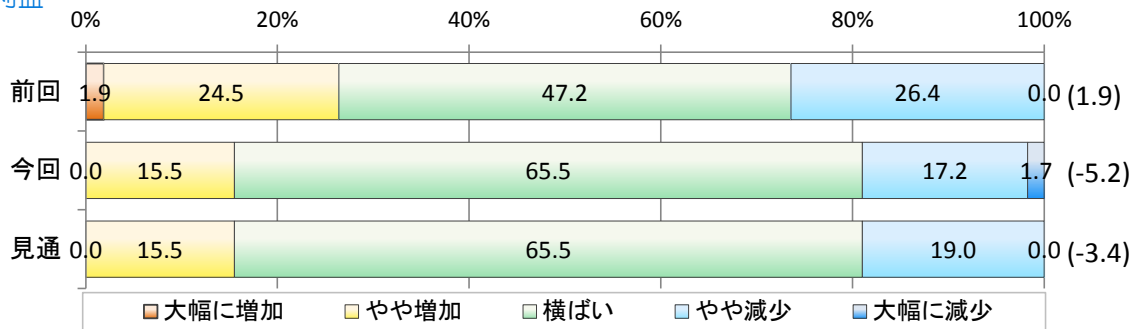
- ・前回より14.6ポイント改善した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

■ 営業収入 (売上高)



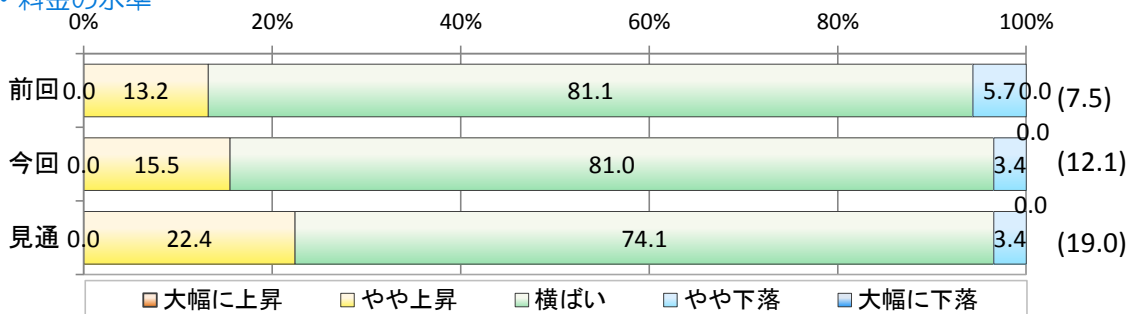
- ・前回より22.2ポイント改善した。
- ・今後はやや水準を上げる見込み。

■ 営業利益



- ・前回より7.1ポイント悪化した。
- ・今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。

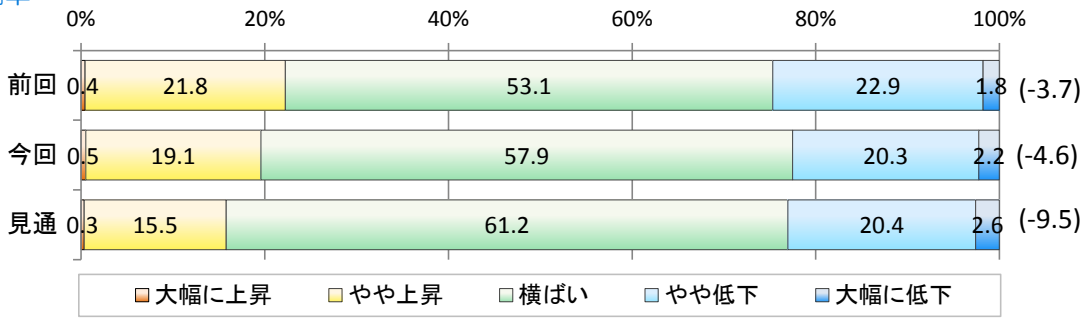
■ 運賃・料金の水準



- ・前回より4.6ポイント改善した。
- ・今後はやや水準を上げる見込み。

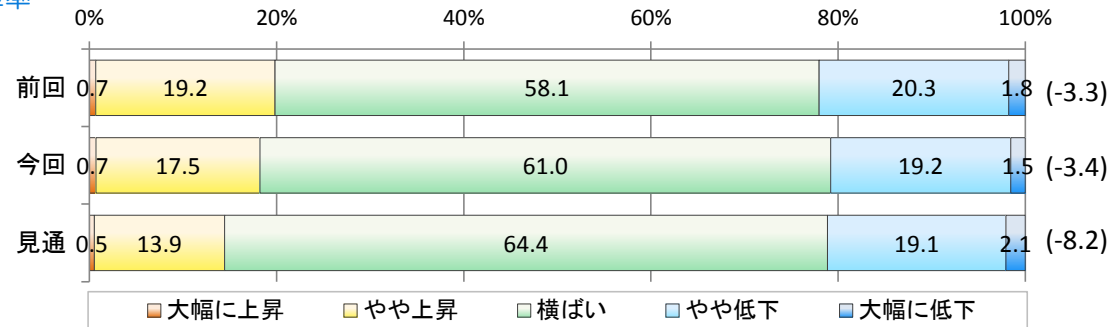
## 5. 共通の概況

### ■実働率



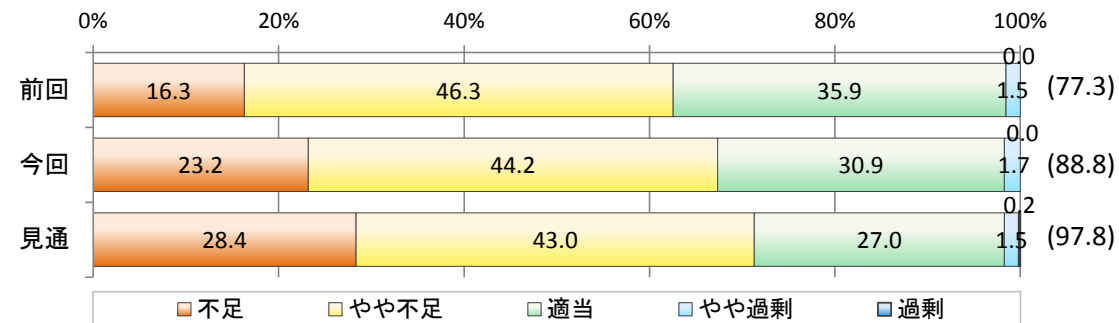
- ・前回より0.9ポイント悪化した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

### ■実車率



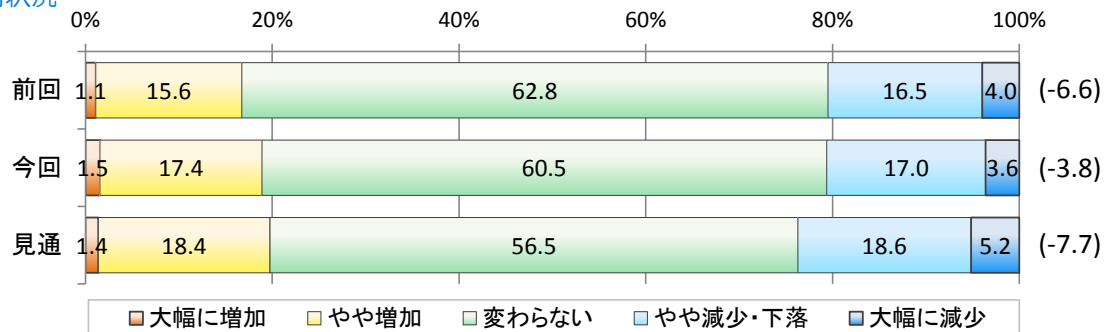
- ・前回より0.1ポイント悪化した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

### ■雇用状況（労働力の過不足）<sup>(注4)</sup>



- ・前回より11.5ポイント上昇した(不足感が強くなった)。
- ・今後はやや水準を上げる見込み。

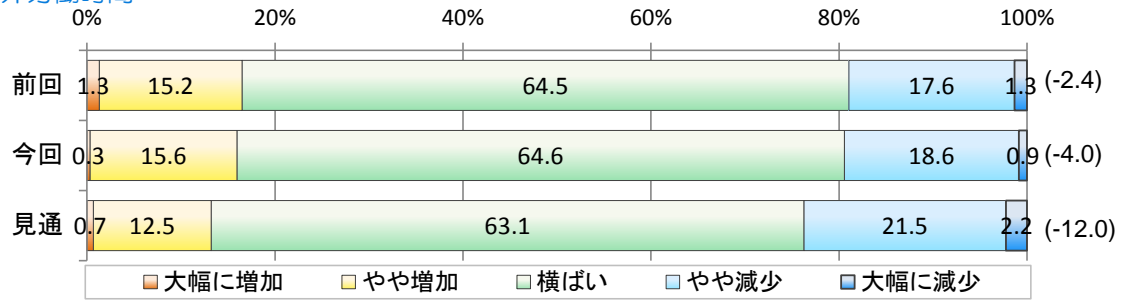
### ■採用状況



- ・前回より2.8ポイント増加した。
- ・今後は水準を僅かに下げる見込み。

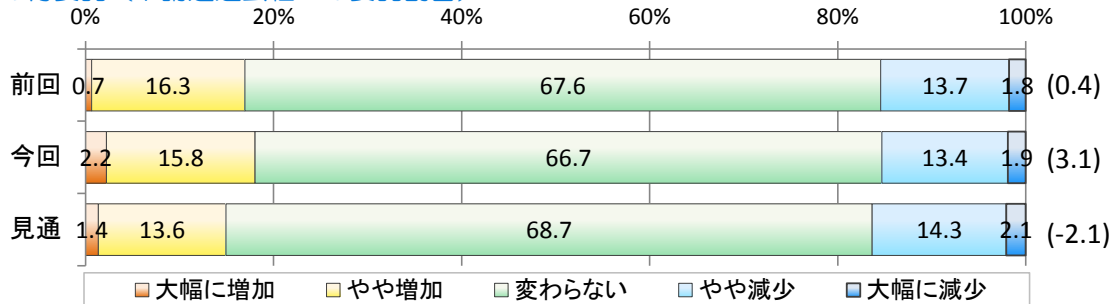
(注4) 雇用状況については、上段は前回(H28.10月～12月期)の状況、中段は今回(H28.1月～3月期)の状況、下段は今後(H29.4月～6月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を質問している。

### ■ 所定外労働時間



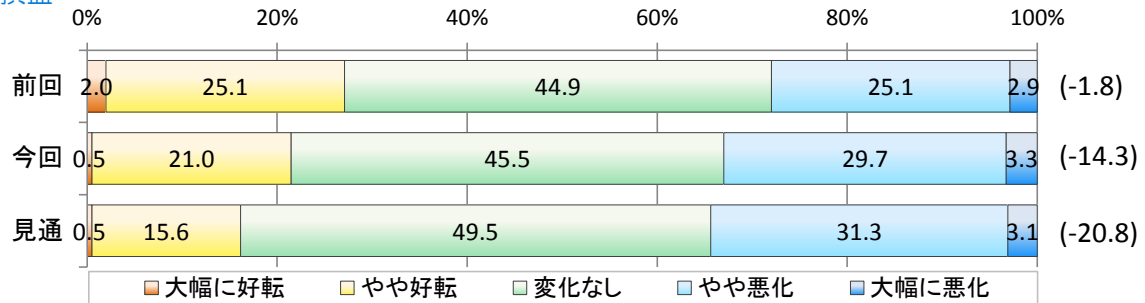
- ・前回より1.6ポイント減少した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

### ■ 貨物の再委託（下請運送会社への委託割合）



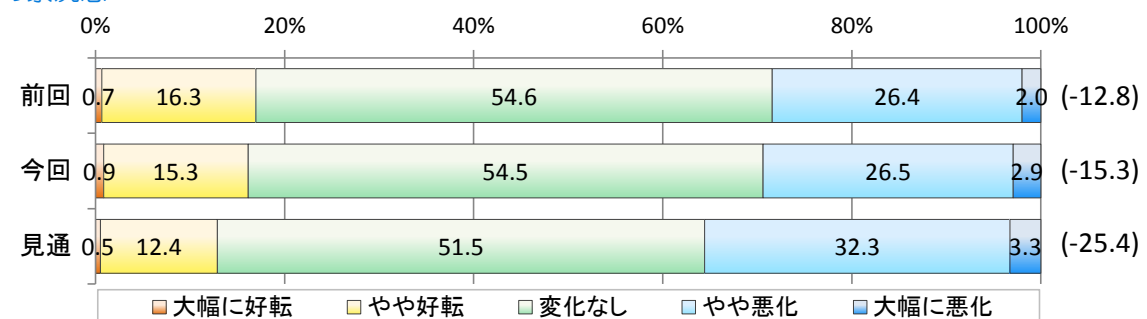
- ・前回より2.7ポイント増加した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

### ■ 経常損益



- ・前回より12.5ポイント悪化した。
- ・今後は水準をやや下げる見込み。

### ■ 業界の景況感



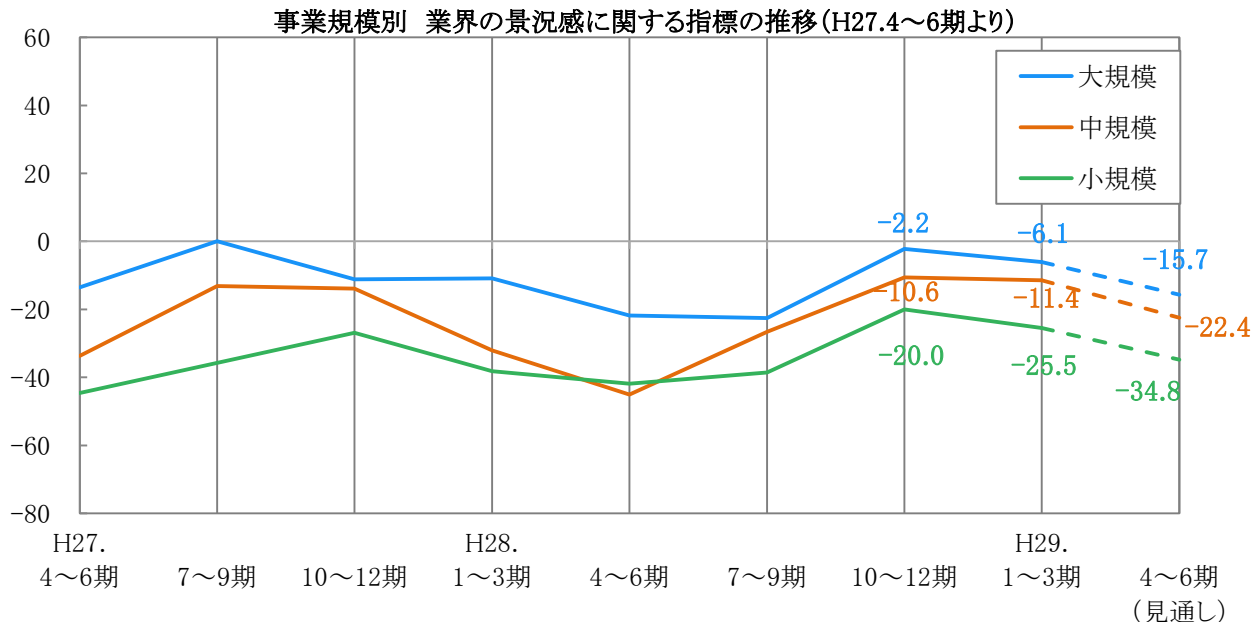
- ・前回より2.5ポイント悪化した。
- ・今後は水準を下げる見込み。



## 6. 事業者特性別の特徴

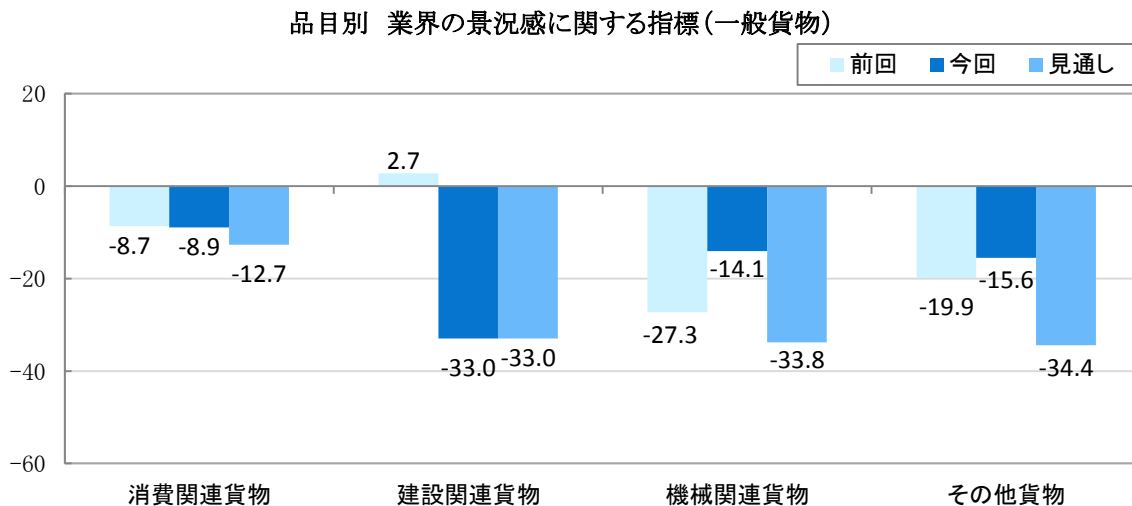
### ① 規模 (注5)

- ・事業規模別の景況感は前回と比べ、大規模事業者、小規模事業者は悪化、中規模事業者はやや悪化している。
- ・今後は大規模事業者、中規模事業者、小規模事業者ともに悪化の見込みである。



### ② 品目 (注6)

- ・「消費関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感はほぼ横ばい、今後は下がる見込みである。
- ・「建設関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を下げており、今後は横ばいの見込みである。
- ・「機械関連貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準を上げており、今後は下がる見込みである。
- ・「その他貨物」を扱う事業者では、前回と比べ景況感の水準をやや上げており、今後は下がる見込みである。



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上      中規模事業者：21両以上100両以下      小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

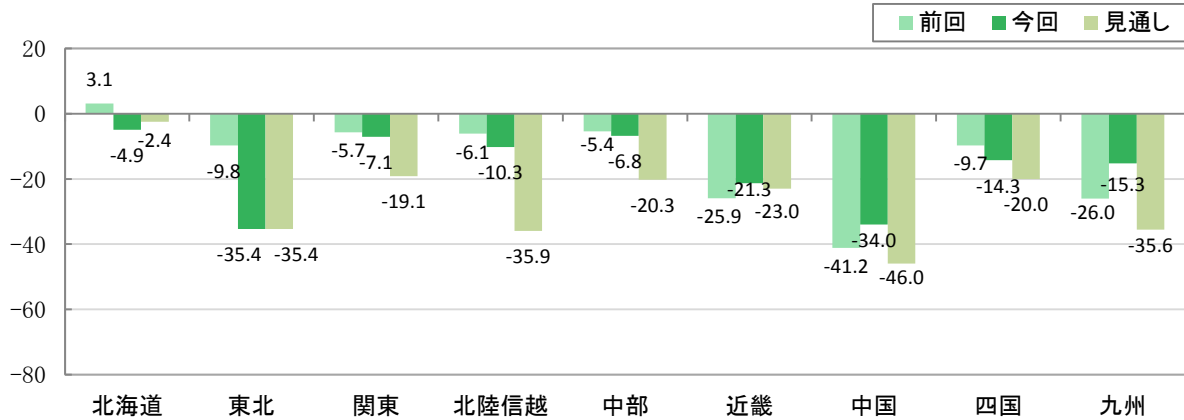
その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

### ③ 地域 (注7)

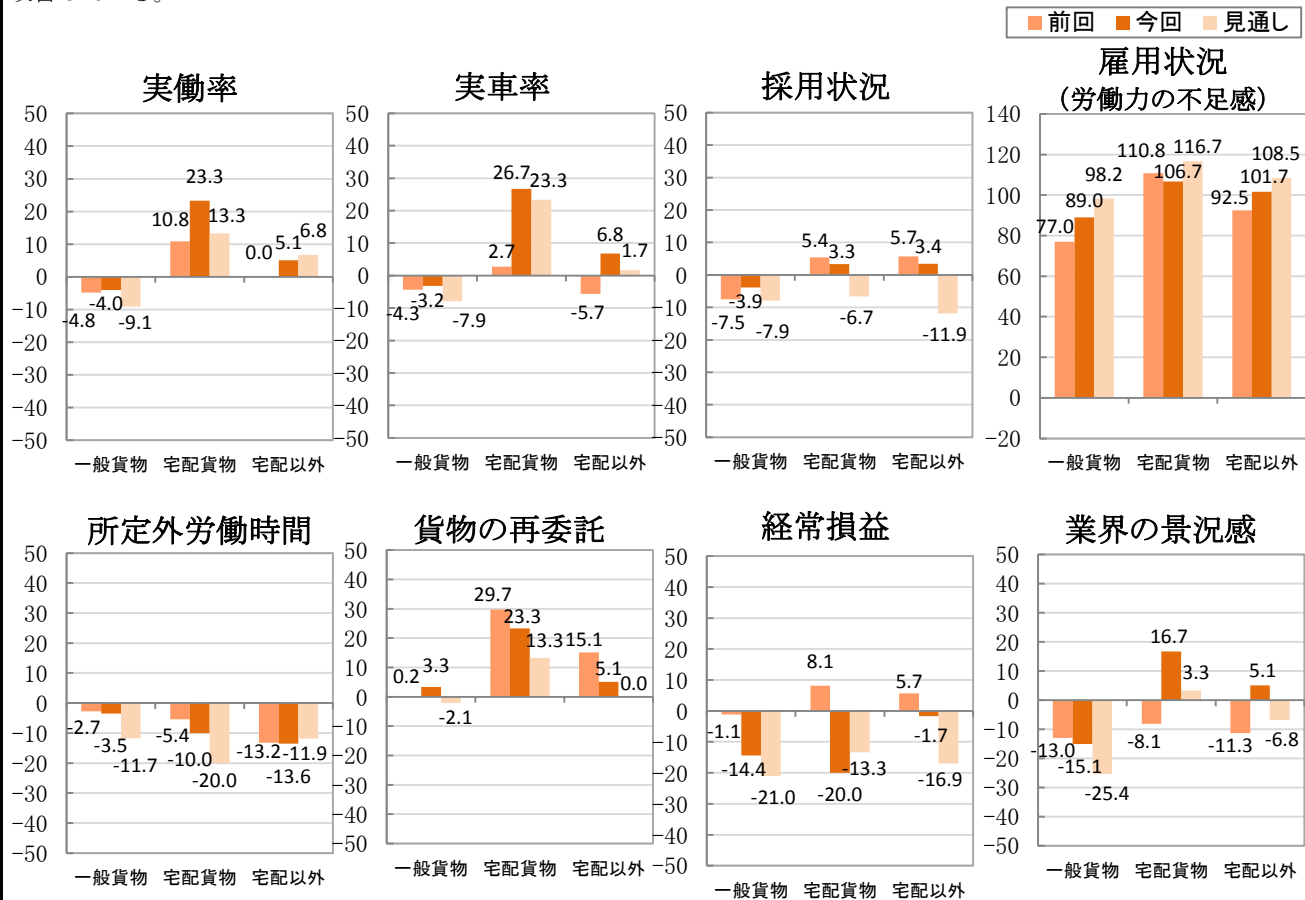
- ・一般貨物について業界の景況感を地域別にみると、北海道、東北、関東、北陸信越、中部、四国は水準を下げており、近畿、中国、九州は水準を上げている。
- ・今後は、北海道は水準を上げ、東北、近畿はほぼ横ばい、関東、北陸信越、中部、中国、四国、九州は水準を下げる見込みである。

地域別 業界の景況感に関する指標 (一般貨物)



### ④ 事業形態別 (注8)

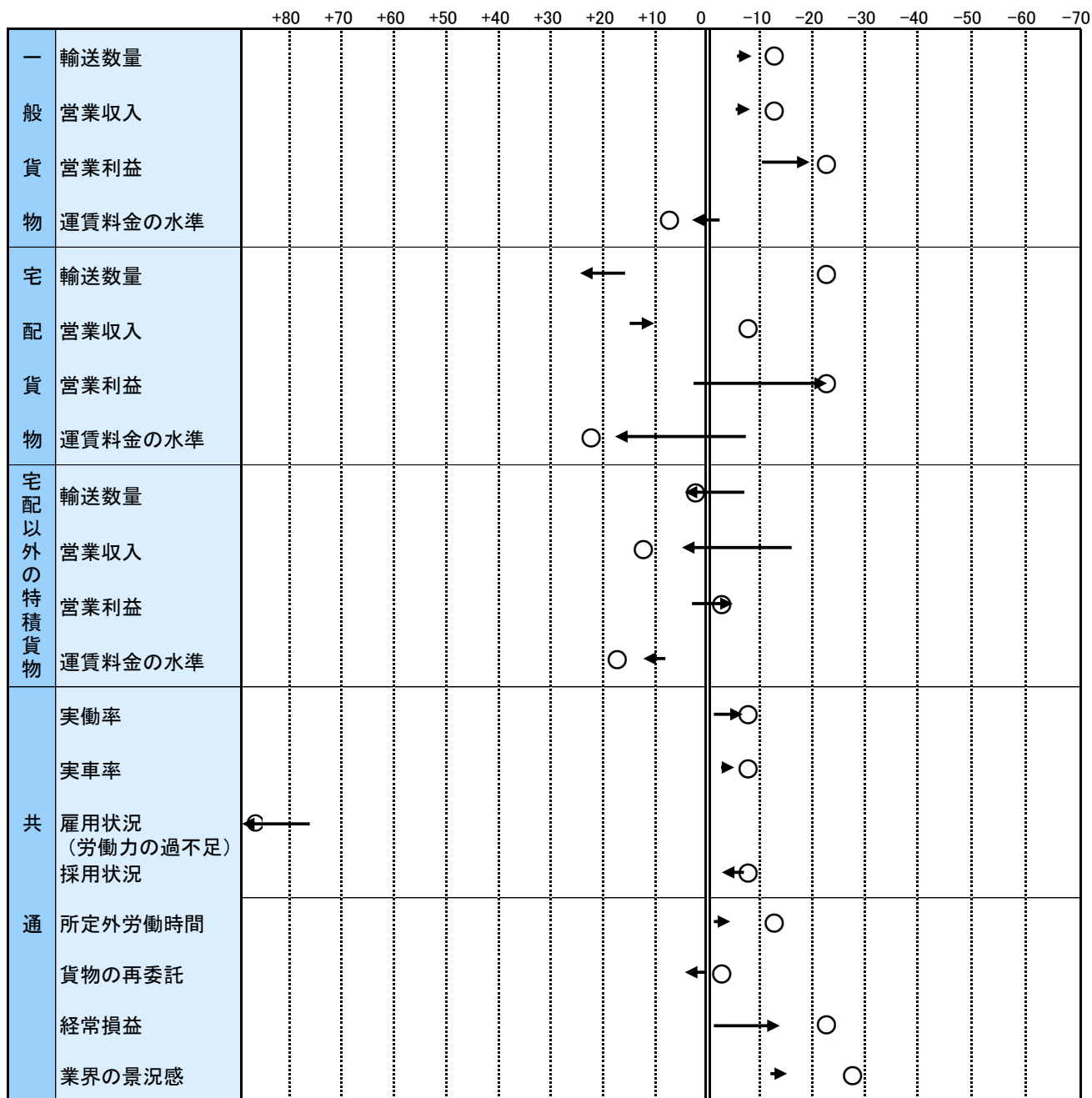
- ・事業形態別の景況感は、「宅配」「宅配以外」で水準を上げている。また、雇用状況は「一般貨物」「宅配以外」で水準を上げ、人材不足感がより強くなっている。
- ・宅配貨物では運転者不足、未払残業代の支払い等の要因による費用増加の影響があり、経常損益は8.1から28.1ポイント悪化となったものの、貨物数量や運賃料金水準が若干の改善傾向に推移したことから、今期の景況感は24.8ポイント改善している。



(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

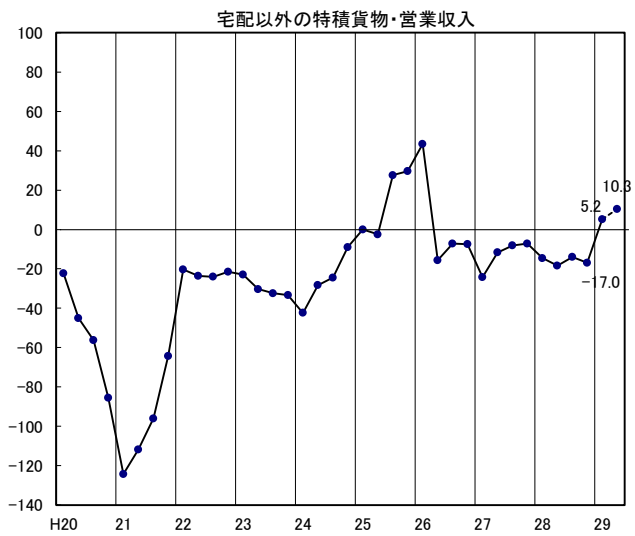
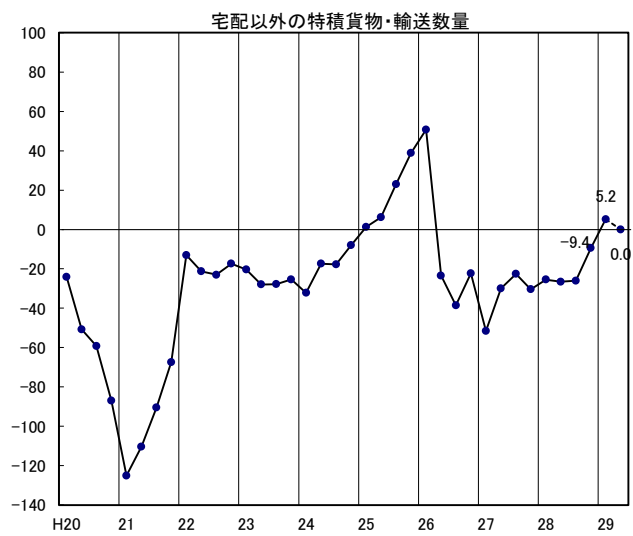
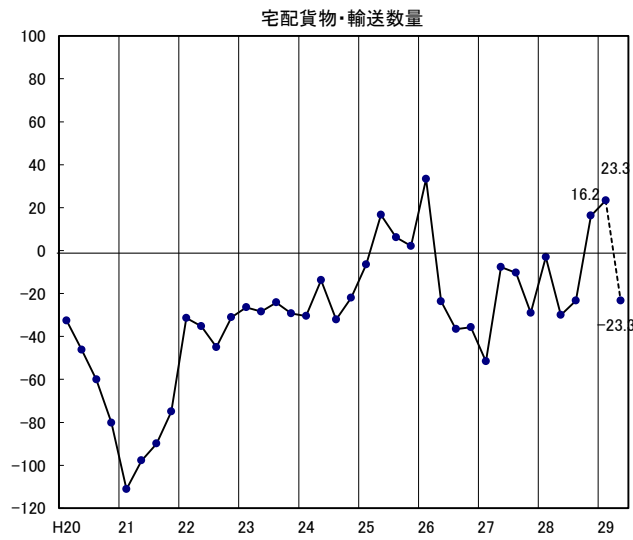
7. 業況判断指標の前回調査（平成28年10月～12月期）からの変化



凡例  
 矢元：10-12月期の実績      矢先：1-3月期の実績      白丸：4-6月期の見通

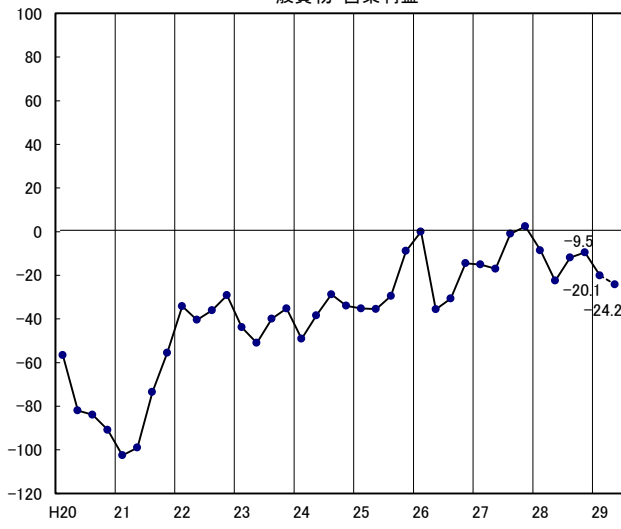
## 8. 業況判断指標の推移

平成20年～平成29年第2四半期見通し

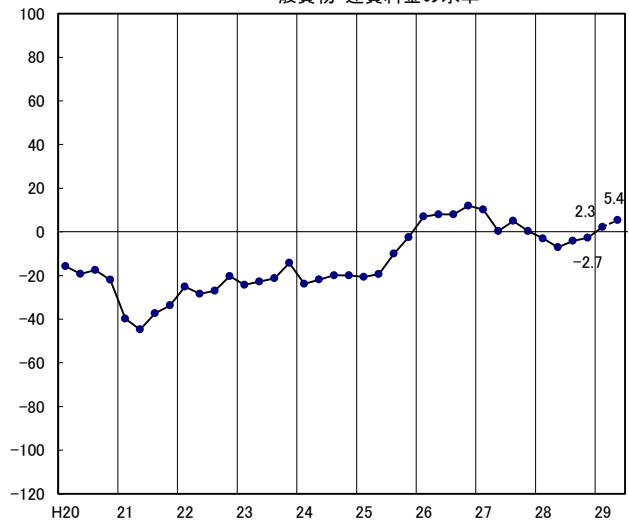


平成20年～平成29年第2四半期見通し

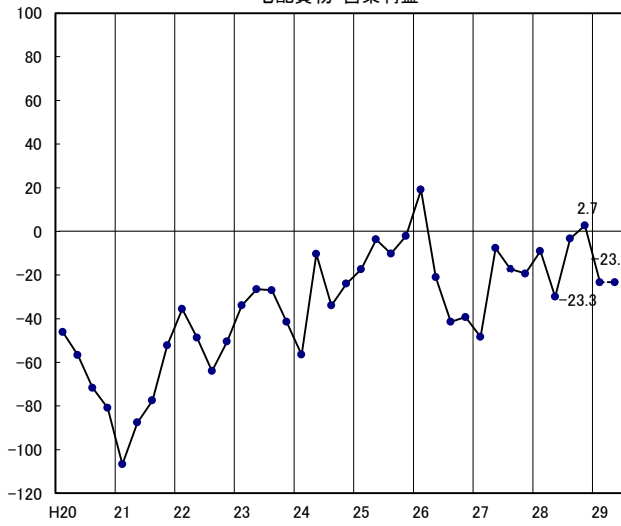
一般貨物・営業利益



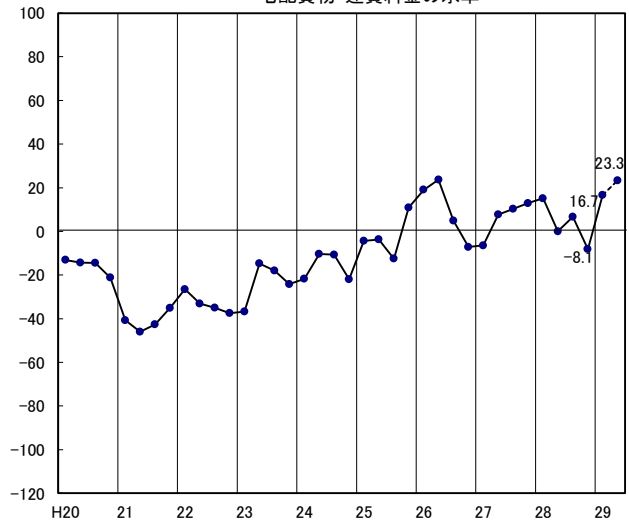
一般貨物・運賃料金の水準



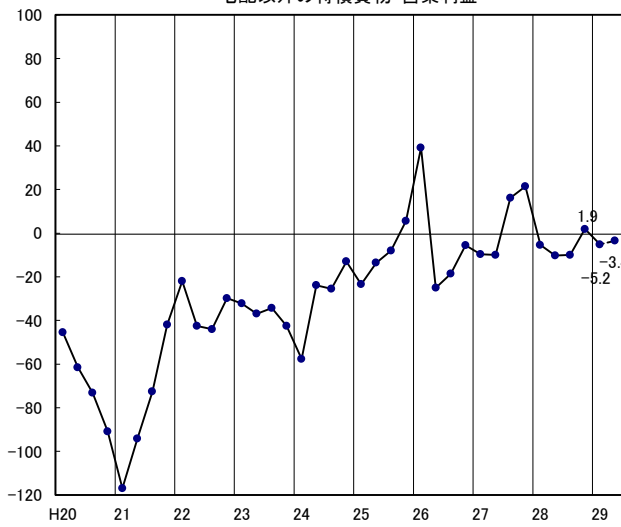
宅配貨物・営業利益



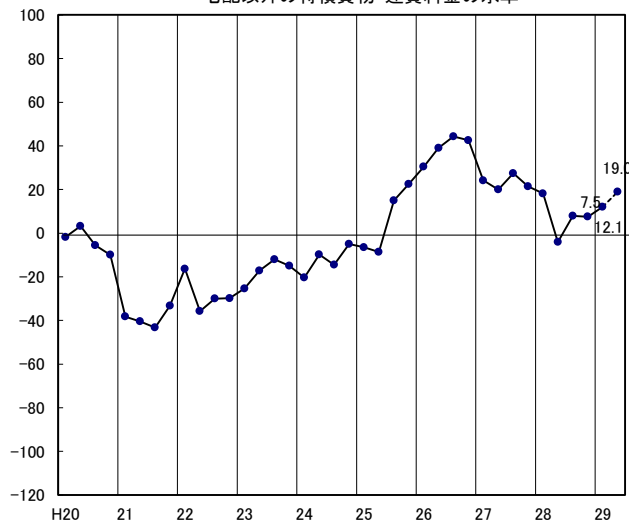
宅配貨物・運賃料金の水準



宅配以外の特積貨物・営業利益

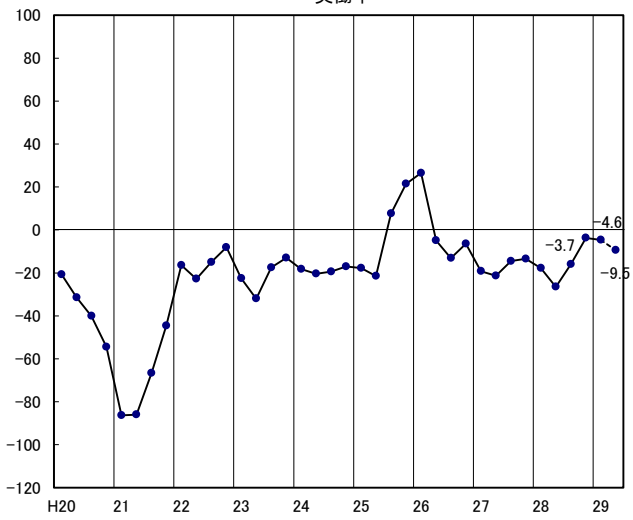


宅配以外の特積貨物・運賃料金の水準

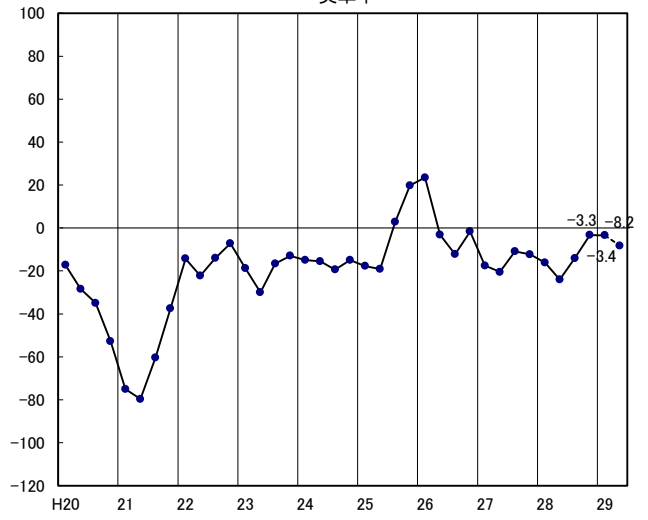


平成20年～平成29年第2四半期見通し

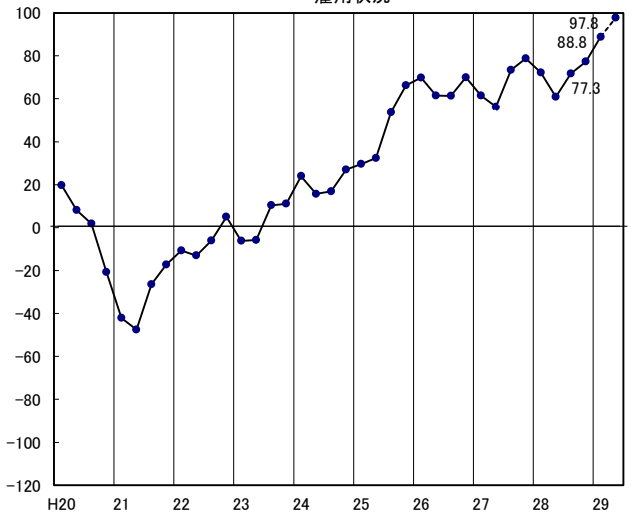
実働率



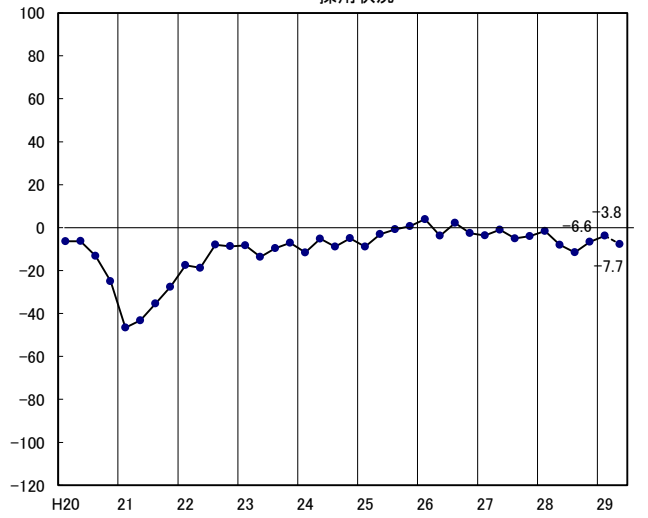
実車率



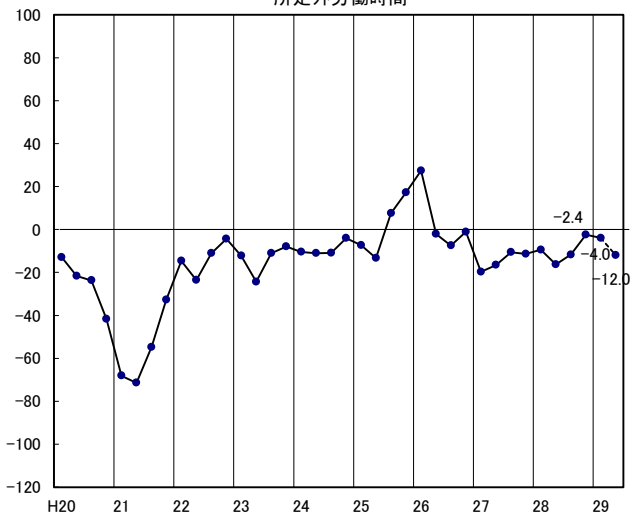
雇用状況



採用状況

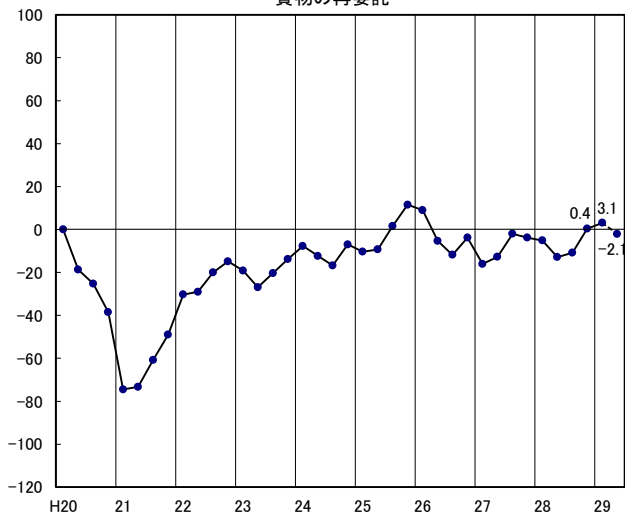


所定外労働時間

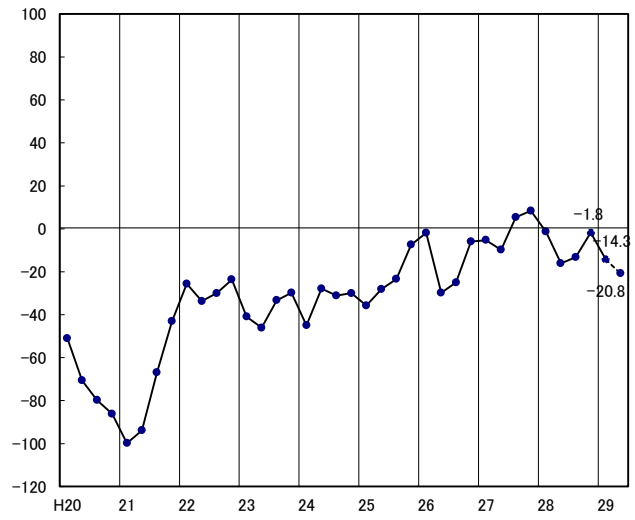


平成20年～平成29年第2四半期見通し

貨物の再委託



経常損益



業界の景況感

